

清流の辺

令和6年7月19日
丹波中学校 校長だより

一学期を終えて

7月19日（金）、一学期の終業式が行われました。

式のなかで、私より丹波中生徒のよさについて話をしました。「みなさんと過ごしてきた一学期、校長として、ことあるごとに、皆さんの誠実さ・優しさを感じてきました。これは、社会を生きていくうえで、最も大切なことだと思っています。」



一学期終業式の様子

6名の生徒が、共に助け合い、支え合い学校生活を送ってきました。夏休みを安全で充実したものとし、二学期の始業式に元気に再会できることを楽しみにしています。

「ふるさと丹波山の森を感じよう」自然体験活動

7月18日（木）、道の駅近くの広場で、保育所・丹波小中学校合同での自然体験活動が行われました。講師には、山梨大学の川村先生と3名の学生さんが来てくださいました。

当日は天候にも恵まれ、丹波山村の豊かな自然を感じ取りながら、中学生・小学生・園児が、知恵を出し合い、助け合い、課題をクリアする楽しいゲームが4つ行われました。3つのグループに分かれて活動しましたが、どのグループでも中学生のリーダーシップが発揮されていました。終わりの会では、講師の先生から、「自然に親しみ、やさしく、強く、考えることのできる人に育ってほしい。」というメッセージをいただき、中学生は真剣に、その言葉を受け止めていました。



自然のなかでのゲームを
楽しむ園児・児童・生徒

着衣泳の授業より

7月17日（水）、着衣泳の授業が行われました。

生徒たちは、体育着・体育館履きの服装でプールに入り、その動きにくさを、体験として感じ取っていました。

その後、2Lの空のペットボトルを持ち、長時間浮き続ける方法を試行錯誤していました。写真は、ラッコのようにペットボトルを抱えることで、力まず浮く方法を体得した生徒たちの様子です。



服を着たまま浮く体験

水の事故から命を守るため、こうした授業の大切さを改めて感じました。授業のなかでは、海とプールとの違いについても説明があり、生徒たちは真剣なおももちで聞き入っていました。